

## 平成28度 シラバス（授業計画）

|      |  |  |  |
|------|--|--|--|
| 教科名  | <b>芸術 I</b>  | 単位数  | <b>2 単位</b>  |
| 科目名  | <b>書道 I</b>  | 対象学年   | <b>1 学年</b>  |
| 科目分類 | <b>必修選択</b>  | 授業形態   | <b>一斉 授業</b>   |
| 教科書  | 書道 I（教育出版）   | 担当   | 濱崎麻里子  |
| 使用教材 | 教科書及び配布プリント  |  |  |
| 学習内容 | ねらい  | 様々な古典の臨書を通じて書の表現の多様性を学ぶ。<br>古典の臨書を通じて筆遣いを学び、それをもとに自らの表現を目指す。 |  |
|      | 1 学期   | 書道とは<br>楷書の学習  | 書写と書道の違いを学ぶ<br>厳格な書・温かな書<br>軽快な書・重厚な書<br>円勢と方勢             |
|      | 2 学期   | 行書の学習  | 行書の特徴<br>蘭亭序の臨書<br>争坐位稿の臨書<br>陶書制作                         |
|      | 3 学期   | 仮名の書   | 仮名の歴史<br>いろはうた・連綿<br>仮名の書の臨書・創作<br>漢字仮名交りの書 自分の想いを表現した作品作り |
| 評価観点 | 授業に意欲を持って取り組むことができたか。<br>書体や書風の特徴を理解することができたか。<br>書体や書風の特徴を表現することができたか。<br>表現の意図に沿って工夫して制作したか。 |  |  |
| 評価方法 | 評価の観点にある事項について、作品の提出・感想文等のプリントの提出をしてもらい、点数化する。その総合点により評定1～10で評価する。                             |  |  |
| 備考   | 評価に関しては技術点に偏らないように注意する。  |  |  |

# 平成28度 シラバス (授業計画)

|      |  |  |   |      |              |
|------|--|--|---|------|--------------|
| 教科名  | <b>芸術Ⅱ</b>   |  |   | 単位数  | <b>2 単位</b>  |
| 科目名  | <b>書道Ⅱ</b>   |  |   | 対象学年 | <b>2 学年</b>  |
| 科目分類 | <b>必修選択</b>  |  |   | 授業形態 | <b>一斉 授業</b> |
| 教科書  | <b>書道Ⅰ(教育出版)</b>   |  |   | 担当   | 濱崎麻里子        |
| 使用教材 | 教科書及び配布プリント  |  |   |      |              |
| 学習内容 | ねらい  | 様々な古典の臨書を通じて書の表現の多様性を学ぶ。<br>古典の臨書を通じて筆遣いを学び、それをもとに自らの表現を目指す。 |   |      |              |
|      | 1 学期   | 書道とは<br>楷書の学習  | 書写と書道の違いを学ぶ<br>厳格な書・温和な書<br>軽快な書・重厚な書<br>円勢と方勢    | 授業時間 | 24<br>時間     |
|      | 2 学期   | 行書の学習  | 行書の特徴<br>蘭亭序の臨書<br>争坐位稿の臨書<br>陶書制作                | 授業時間 | 26<br>時間     |
|      | 3 学期   | 仮名の書<br>漢字仮名交りの書   | 仮名の歴史<br>いろはうた・連綿<br>仮名の書の臨書・創作<br>自分の想いを表現した作品作り | 授業時間 | 20<br>時間     |
| 評価観点 | 授業に意欲を持って取り組むことができたか。<br>書体や書風の特徴を理解することができたか。<br>書体や書風の特徴を表現することができたか。<br>表現の意図に沿って工夫して制作したか。 |  |   |      |              |
| 評価方法 | 評価の観点にある事項について、作品の提出・感想文等のプリントの提出を<br>点数化する。その総合点により評定1～10で評価する。                               |  |   |      |              |
| 備考   | 評価に関しては技術点に偏らないように注意する。  |  |   |      |              |